

地域医療機能推進機構 (JCHO) 秋田病院



地域医療連携室だより

2018年度 第1号 4月

新年度のあいさつ

機能を充実させて地域に貢献いたします

～昨年度の総括と新年度の抱負～

JCHO 秋田病院長
附属老人保健施設長

石岡 隆

「独立行政法人 地域医療機能推進機構 (JCHO) 秋田病院」として再出発してから中期計画の最終年度となりました。これまでの皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

昨年度は健康管理センターのシステムを更新し、健康診断の流れと受診後のデータ処理を改善致しましたので、1日の定員枠を増加させることができ、また午前中のやや遅い時間から始める「ゆったり健診」も開始致しました。乳がん検診も視触診廃止により定員枠を増やすことができ、超音波による検診もスタートしました。附属介護老人保健施設は手狭であった通所リハビリのフロアを拡大改修し、定員枠に見合うスペースを確保致しました。

今年度は附属介護老人保健施設のリハビリスタッフと居宅介護支援センターのスタッフを増員致しました。また能代市地域包括支援センター（本庁地域）を受託し、スタートしました。

病院、附属介護老人保健施設、健康管理センター、訪問看護ステーション、居宅介護支援センターに、能代市地域包括支援センター（本庁地域）を加えて、それぞれに、より機能を充実させてこれまで以上に地域に貢献していく所存です

今後ともよろしくお願い申し上げます。



新任のあいさつ

地域の皆様方の生活を支える担い手として精進します

～新事務長 高田弘樹～

このたび、独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)秋田病院の事務長を拝命しました高田弘樹と申します。東京のJCHO本部東日本地区事務所より転勤して参りました。自宅は青森県で異動により自宅に近づくことができました。

さて当院は、「安全で安心できる質の高い医療・介護を提供し、地域に貢献し信頼される病院を目指します」を基本理念に、病院、介護老人保健施設、健康管理センター、訪問看護ステーション、居宅介護支援センターを運営し、本年4月からは、地域包括支援センターを開設し、地域医療、地域包括ケアの要として、地域の皆様方の生活を支える担い手としてこれからも精進してまいります。

地域の皆様方に信頼され安心してご利用いただける病院として、一層これらの機能を果たしていかなければならないと感じています。地域の皆様方から特段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



地域包括ケアシステム構築のために努力します

～新副総看護師長 小野 祐美～

陽春の候を迎え、先生方、地域医療の各関係者の皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

本年度より JCHO 秋田病院副総看護師長を拝命いたしました小野祐美と申します。前任地の JCHO 仙台南病院では地域連携室長として勤務しておりました。

地域包括ケアシステム構築のために、柔軟でスムーズな医療連携を目指し努力してまいります。そのために、能代・山本地域の医療構想を理解し、患者様が住み慣れた地域や在宅で安心して生活ができるように先生方、地域医療の関係者の皆様と更なる情報の共有を目指す所存です。秋田には観光名所や、温泉、名物が沢山ありますので、今から休日が楽しみです。

不慣れではありますが、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願いいたします。



包括支援センター開設特集

能代市から受託し、4月から稼働！

～本庁地域包括センターを開設～

H30年4月1日より、能代市より受託し、本庁地域包括支援センターが開設されました。

保健師・看護師2名、社会福祉士2名、主任介護支援専門員2人の6人で活動をスタートしました。地域のネットワークづくり、介護予防教室開催、権利擁護事業、包括的ケアマネジメントシステムの構築、介護予防プラン作成等、幅広い対応が求められています。

高齢化と人口の自然減が進むこの能代で、安心して生活が継続できるよう丁寧、安心、迅速な対応を目標に活動していきたいと思っています。

この地域では他には無い病院、老健施設、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所と更なる連携を行い、地域包括ケアシステムの構築を目指します。皆様のご支援を今後ともよろしくお願いします。

(本庁地域包括支援センター管理者 三浦 睦)



前列左から菊池愛保健師、三浦睦管理者(看護師)、三浦菜都実社会福祉士、長岡金子ケアマネジャー、後列左から飯坂正美社会福祉士、原田卓哉ケアマネジャー

本庁地域包括支援センター

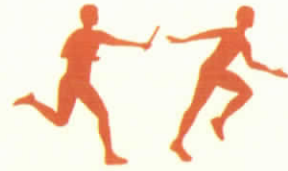
委託先 独立行政法人地域医療機能推進機構秋田病院
住 所 通町7-15
☎74-7156 ファクス74-7157



担当地区 上町/万町/日吉町/御指南町/富町/畠町/東町/大町/川反町/浜通町/清助町/大手町/盤若町/末広町/景林町/西通町/柳町/住吉町/栄町/通町/若松町/出戸本町/追分町/元町/南元町/明治町/中和一丁目/中和二丁目/緑町/花園町/青葉町/昭南町/松美町/秋の台/能代町字日和山下/能代町字中川原/能代町字赤沼/能代町字悪土/字砂留山/字鳥小屋/字後谷地/字出戸後/字彩露長根/字豊祥岱/字藤山/字東大瀬/字西大瀬/字大瀬橋下/字養蚕/字養蚕脇/字西赤沼/字東赤沼/字上柳/字下内崎/字下悪戸/字中悪戸/字仁井田白山/字悪土/字機織袴/目/字下関/字中関/字一本木/字宮ノ前/字中嶋/字上関

(広報のしろ3月10日号より抜粋)

職員ペンリレー



一足ごと思い出のつまんだ大事なものの

～数年前からスニーカーを収集～

リハビリテーション科理学療法士の大山裕子です。秋田の長い冬も終わり、待ち遠しかった春になりました。春は出会いや別れ、新たな門出など様々なイメージがある季節ですが、皆さんにとって春はどんな季節ですか？私は「やっとスニーカーが履ける！」とわくわくする季節です。数年前からスニーカーを集めるようになり、今では部屋に靴の箱の山が…。私にとってスニーカーは、ただ履くだけのものではなく、一足ごとに思い出のつまんだ大事なものです。大事だからこそ、なかなか履けずにしまっていたスニーカーも多くあります。しかし、スニーカーが劣化してしまう前に、今年の春からたくさん履いていこうと思います。新年度もよろしくお願ひします。

(リハビリテーション科 理学療法士 大山裕子)



独立行政法人地域医療機能推進機構
秋田病院
地域医療連携室
秋田県能代市緑町 5-22
電話：0185-52-3271（代表）
FAX：0185-54-7892（代表）
FAX：0185-54-1266（連携室直通）

編集後記

高松：新年度「丁寧に生きる」を掲げ、簡単なことのように難しいですが、心がけたいです。
塚本：4月なのに、インフルエンザにかかる子どもの世話が大変でした。
安藤：新年度スタート、健康管理をしっかり行い一年間頑張りたいです！
小野：新社会人、ピカピカの1年生です。覚えることがたくさんですが、折れずに頑張ります。
袴田：今年はどこ桜祭りに行こうかな、弘前、角館、八郎潟、やっぱり能代の工業団地か！